

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月13日
【四半期会計期間】	第37期第2四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	株式会社かんなん丸
【英訳名】	KAN-NANMARU CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐藤 栄治
【本店の所在の場所】	埼玉県さいたま市南区南浦和二丁目18番5号 （同所は登記上の本店所在地で実際の業務は、下記「最寄りの連絡場所」 で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	埼玉県さいたま市南区南浦和二丁目35番11号
【電話番号】	048(881)9056（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部長 菊田 聡
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第36期 第2四半期連結 累計期間	第37期 第2四半期連結 累計期間	第36期
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年12月31日	自平成25年7月1日 至平成25年12月31日	自平成24年7月1日 至平成25年6月30日
売上高(千円)	3,207,470	3,123,303	6,309,433
経常利益(千円)	143,824	106,158	240,433
四半期(当期)純利益(千円)	65,829	46,376	123,392
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	66,659	47,672	127,103
純資産額(千円)	3,402,853	3,449,712	3,463,119
総資産額(千円)	4,328,985	4,257,326	4,147,429
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	15.67	12.17	30.79
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	78.6	81.0	83.5
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	180,036	307,936	299,622
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	74,018	23,122	284,292
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	731,867	32,409	754,201
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高(千円)	1,141,906	1,327,533	1,028,883

回次	第36期 第2四半期連結 会計期間	第37期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	9.51	8.77

- (注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税及び地方消費税は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。なお、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融緩和策を背景に円安や株高が進行するなかで、緩やかな景気回復基調が見られ、個人消費は持ち直し傾向にあるものの、消費税率の引き上げを控え、先行きは不透明な状況となっております。

一方、外食産業におきましても、一部では高価格帯商品の需要が増えるなどの状況は見られるものの、消費者の節約志向は強いものがあり、依然として厳しい状況が続いております。

こうした状況の下、当社グループは既存店の活性化を図り、地域一番店を目指す方針に基づき、人材の発掘・登用を積極的に行い、また、「わざわざご来店いただいたお客様」に感謝するためのきめ細かい施策を継続して実施してまいります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、大衆割烹「庄や」43店舗、「日本海庄や」39店舗、気楽な安らぎ処「やるき茶屋」9店舗、カラオケルーム「うたうんだ村」8店舗、無国籍料理「KUSHI949KYU」1店舗、コーヒー専門店「ドトールコーヒーショップ」1店舗、旬菜・炭焼「炉辺」1店舗の合計102店舗となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3,123,303千円（前年同四半期比2.6%減）、売上総利益は2,228,151千円（前年同四半期比3.1%減）、販売費及び一般管理費については2,133,294千円（前年同四半期比1.4%減）となり、営業利益は94,856千円（前年同四半期比30.7%減）となりました。

経常利益につきましては、106,158千円（前年同四半期比26.2%減）となり、税金等調整前四半期純利益90,715千円（前年同四半期比26.8%減）となり、四半期純利益は46,376千円（前年同四半期比29.6%減）となりました。

また、平成25年12月10日開催の取締役会において、出店戦略の見直しと経営資源の合理化を図るため、庄や太田北口店を平成26年1月31日をもって閉店することを決議いたしました。これに伴い、当第2四半期連結会計期間末において、減損損失15,290千円を計上いたしました。

なお、当社は料理飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態の分析

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,537,838千円となり、前連結会計年度末に比べて250,142千円増加となりました。これは、現金及び預金が259,252千円増加したことが主な要因となっております。

また、固定資産は2,719,176千円となり、前連結会計年度末に比べて140,200千円減少となりました。これは主に、減価償却が進んだこと等により有形固定資産の残高が147,235千円減少したことによるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は626,030千円となり、前連結会計年度末に比べて142,164千円の増加となりました。これは、決算月次の仕入高の増加に伴い買掛金が58,499千円増加したこと、短期借入金が50,000千円増加したこと等が主な要因となっております。

また、固定負債は181,583千円となり、前連結会計年度末に比べて18,860千円の減少となりました。これは主に、長期借入金が返済により18,889千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,449,712千円となり、前連結会計年度末に比べて13,406千円減少となりました。これは主に、配当支払による減少と四半期純利益の計上等により利益剰余金が14,614千円減少したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,327,533千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は307,936千円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益90,715千円、減価償却費141,909千円、仕入債務の増加額58,499千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は23,122千円となりました。

これは主に、3ヶ月超預金の払戻による収入70,000千円、3ヶ月超預金の預入による支出32,402千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は32,409千円となりました。

これは主に、短期借入れによる収入50,000千円、配当金の支払額60,654千円等によるものであります。

（4）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

（5）研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,351,308	4,351,308	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	4,351,308	4,351,308		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日		4,351		275,100		88,500

(6)【大株主の状況】

平成25年12月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
佐藤 栄治	埼玉県さいたま市南区	1,009	23.20
有限会社群青	埼玉県さいたま市南区南浦和2-18-5	954	21.94
佐藤 京子	埼玉県さいたま市南区	347	7.99
株式会社大庄	東京都大田区大森北1-22-1	126	2.90
株式会社小室商店	東京都品川区中延5-9-13	81	1.86
かんなん丸従業員持株会	埼玉県さいたま市南区南浦和2-35-11 南浦和秀華ビル6 F	66	1.52
株式会社埼玉りそな銀行	埼玉県さいたま市浦和区常盤7-4-1	50	1.15
株式会社武蔵野銀行	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-10-8	40	0.92
サントリーピア&スピリッツ株 式会社	東京都港区台場2-3-3	34	0.79
住友生命保険相互会社	東京都中央区築地7-18-24	33	0.76
計	-	2,742	63.03

(注) 1. 所有株式数の千株未満は、切り捨てて表示しております。
2. 上記の他、自己株式が539千株あります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 539,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,807,800	38,078	-
単元未満株式	普通株式 4,108	-	-
発行済株式総数	4,351,308	-	-
総株主の議決権	-	38,078	-

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社かんなん丸	埼玉県さいたま市 南区南浦和2-18-5	539,400	-	539,400	12.40
計	-	539,400	-	539,400	12.40

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年7月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、アスカ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,095,049	1,354,302
売掛金	39,676	49,979
商品	72	75
原材料	34,941	40,538
前払費用	80,417	75,149
その他	37,538	17,793
流動資産合計	1,287,696	1,537,838
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,572,603	1,440,938
その他(純額)	337,822	322,251
有形固定資産合計	1,910,426	1,763,190
無形固定資産	14,118	13,891
投資その他の資産		
敷金及び保証金	812,598	812,217
その他	170,797	175,796
貸倒引当金	48,563	45,919
投資その他の資産合計	934,831	942,094
固定資産合計	2,859,376	2,719,176
繰延資産	356	311
資産合計	4,147,429	4,257,326
負債の部		
流動負債		
買掛金	126,858	185,357
短期借入金	10,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	46,109	43,332
未払法人税等	5,449	57,176
賞与引当金	2,230	2,240
その他	293,219	277,924
流動負債合計	483,866	626,030
固定負債		
長期借入金	34,726	15,837
資産除去債務	158,628	158,133
その他	7,089	7,612
固定負債合計	200,443	181,583
負債合計	684,309	807,614

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	275,100	275,100
資本剰余金	88,500	88,500
利益剰余金	3,716,407	3,701,793
自己株式	621,563	621,652
株主資本合計	3,458,444	3,443,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,675	5,971
その他の包括利益累計額合計	4,675	5,971
純資産合計	3,463,119	3,449,712
負債純資産合計	4,147,429	4,257,326

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
売上高	3,207,470	3,123,303
売上原価	907,536	895,152
売上総利益	2,299,934	2,228,151
販売費及び一般管理費	2,163,054	2,133,294
営業利益	136,879	94,856
営業外収益		
受取利息	214	229
協賛金収入	3,638	926
債務取崩益	-	4,880
貸倒引当金戻入額	854	2,644
その他	2,834	3,093
営業外収益合計	7,540	11,774
営業外費用		
支払利息	573	412
その他	22	60
営業外費用合計	595	472
経常利益	143,824	106,158
特別損失		
固定資産除却損	17,327	152
減損損失	-	15,290
役員退職慰労金	2,500	-
特別損失合計	19,827	15,443
税金等調整前四半期純利益	123,997	90,715
法人税、住民税及び事業税	47,940	50,839
法人税等調整額	10,227	6,501
法人税等合計	58,167	44,338
少数株主損益調整前四半期純利益	65,829	46,376
四半期純利益	65,829	46,376

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	65,829	46,376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	829	1,296
その他の包括利益合計	829	1,296
四半期包括利益	66,659	47,672
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,659	47,672
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	123,997	90,715
減価償却費	153,460	141,909
減損損失	-	15,290
貸倒引当金の増減額(は減少)	854	2,644
賞与引当金の増減額(は減少)	690	10
受取利息及び受取配当金	463	494
支払利息	573	412
固定資産除却損	17,327	152
売上債権の増減額(は増加)	9,219	10,303
たな卸資産の増減額(は増加)	1,366	5,599
仕入債務の増減額(は減少)	59,713	58,499
未払消費税等の増減額(は減少)	21,528	8,896
その他	27,707	3,683
小計	348,658	293,160
利息及び配当金の受取額	463	494
利息の支払額	538	396
法人税等の支払額	168,755	6,577
法人税等の還付額	209	21,255
営業活動によるキャッシュ・フロー	180,036	307,936
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	32,402	32,402
定期預金の払戻による収入	40,000	70,000
有形固定資産の取得による支出	86,027	9,889
貸付けによる支出	3,188	8,225
貸付金の回収による収入	3,962	4,688
敷金及び保証金の差入による支出	4,492	-
敷金及び保証金の回収による収入	10,000	-
その他	1,870	1,048
投資活動によるキャッシュ・フロー	74,018	23,122
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	50,000
長期借入金の返済による支出	34,438	21,666
自己株式の取得による支出	586,000	89
配当金の支払額	111,429	60,654
財務活動によるキャッシュ・フロー	731,867	32,409
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	625,848	298,649
現金及び現金同等物の期首残高	1,767,755	1,028,883
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,141,906	1,327,533

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
給料及び手当	834,950千円	819,545千円
賞与引当金繰入額	2,010	2,240

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表上に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
現金及び預金	1,180,571千円	1,354,302千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	38,665	26,768
現金及び現金同等物	1,141,906	1,327,533

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年12月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年9月25日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	112,112	26	平成24年6月30日	平成24年9月26日

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、平成24年11月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、自己株式500,000株を取得いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が586,000千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が621,396千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年9月25日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	60,990	16	平成25年6月30日	平成25年9月26日

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年12月31日)

当社は、料理飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

当社は、料理飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	15円67銭	12円17銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	65,829	46,376
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	65,829	46,376
普通株式の期中平均株式数(株)	4,200,603	3,811,878

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月13日

株式会社かんなん丸

取締役会 御中

アスカ監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 田中 大丸 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 若尾 典邦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社かんなん丸の平成25年7月1日から平成26年6月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年7月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社かんなん丸及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期

報告書提出会社）が別途保管しています。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

